

令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 体験交流事業

札幌の子ども豊かな感性を育み、心身ともに健全な成長を育む観点から、次のような体験交流事業を実施し、延べ約13,700人の参加がありました。

(令和6年度で運営事業終了した、子どもの体験活動の場「Coミドリ」の利用者数を除く。)

(1) 大志塾事業

〈札幌市委託業務〉

北海道開拓150周年を契機に、引き続き「北海道開拓の村」の指定管理者である一般財団法人北海道歴史文化財団の特別協力を得て実施しました。

異なった地域や学年の子どもが参加・交流する事業で、開拓の村クラフトなどを自宅で作り、みんなの作品展としてWebサイトで紹介しました。〈参加者数 延べ118人〉

◇ 第1回 9月1日(日) ◇ 第2回 9月7日(土)

(2) 子どもまつり事業

〈札子連支部独自事業〉

縁日・工作・物販など、子どももの手によるまつり事業を実施し、延べ約6,000人が参加しました。(組織形態：区支部が主催、子ども育成諸団体等との共催等で実施)

中央区：第42回中央区子どもまつり	： 1月19日(日)	560人
北 区：北区子どもまつり	： 10月 6日(土)	400人
東 区：第24回東区ふれあい子どもまつり	： 11月10日(日)	300人
白石区：白石区子ども遊芽カーニバル	： 9月 1日(日)	1,000人
厚別区：厚別区子どもまつり	： 9月 1日(日)	3,000人
清田区：第13回清田区子どもまつり	： 10月26日(土)	344人
西 区：第42回西区子どもまつり	： 10月20日(日)	
※ 区民センターが期日前投票会場となったため中止		
手稲区：子どもまつり2024	： 11月 3日(日・祝)	350人

(3) 地域における体験交流事業

☆ 私たちのまちのカレンダーづくり

〈札幌市委託業務〉

参加者から寄せられたテーマ作品「私のまちの好きなおとこ」「こんなまちになったらいいな」を「2025」のモザイクアートに編集し、今年のカレンダーを作成しました。

また、子ども会の育成者はWebサイトで応援メッセージを送りました。

〈参加者数：1,200人(小学1・2年生を含む家族300組)〉

☆ 区支部の体験交流事業

〈札子連支部独自事業〉

❖ 区支部では、地域で仲間と遊ぶ体験・野外で遊ぶ体験が少ない子どもなどに、各区支部の特性を活かしつつ、集団活動・野外活動の喜び・達成感を感じてもらおう体験交流事業を企画・実施しました。〈居場所づくり、子ども会学校、野外活動推進等〉

その結果、延べ28回開催され、延べ約2,100人が参加しました。

※ 協力事業における来場者数を除く。

〈居場所づくり・子ども会学校等〉

◇ 中央区

❖ こどもの交流の日 : 6月30日(日) 118人

❖ 第38回中央区ドリーム号 : 9月28日(土) 107人

◇ 北 区

❖ スノーキャンプ (子ども会学校：宿泊)	： 2月 8日 (土) ~ 9日 (日)	184人
❖ 体験チャレンジ	： 9月21日 (土)	75人
	11月 9日 (日)	72人
◇ 東 区		
❖ 第41回さっぽろ・ひがしミステリーGO(宿泊)	： 9月 7日 (土) ~ 8日 (日)	132人
◇ 白石区		
❖ 工作教室	： 12月 1日 (日)	31人
❖ 陶芸体験教室	： 11月24日 (日)	58人
❖ 第46回白石区子ども百人一首かるた大会	： 1月26日 (日)	76人
◇ 厚別区		
❖ 厚別区民まつり(協力事業)	： 7月26日 (金)・27日(土)	
	※ 来場者 約69,000人 従事者数50人	
❖ ワクワク陶芸体験	： 11月 9日 (土)	50人
❖ キッズクッキング	： 2月22日 (土)	34人
❖ 新さっぽろ冬まつり(協力事業)	： 2月 8日 (土)・9日 (日)	
	※ 来場者 約4,500人 従事者数33人	
◇ 豊平区		
❖ 親子で工作教室	： 2月16日 (日)	15人
◇ 清田区		
❖ 清田ふれあい区民まつり(協力事業)	： 7月13日 (土)	
	※ 来場者 約2,000人 従事者数22人	
❖ 子ども歴史体験2024	： 8月 8日 (木)	20人
❖ 工作教室	： 9月21日 (土)	30人
❖ 書き初め	： 1月 9日 (木)	9人
❖ アイスキャンドルイベント	： 1月25日 (土)・26日 (日)	80人
◇ 南 区 計206人		
❖ ジャンボリー・第37回紋別市子ども交歓会	： 7月31日 (水) ~ 8月1日(木)	54人
❖ 紋別市訪問交流会 (宿泊)	： 10月 5日 (土) ~ 6日 (日)	78人
❖ あそびの広場	： 11月30日 (土)	103人
❖ 紋別市・南区リーダー交流会	： 1月25日 (土)	10人
◇ 西 区		
❖ 深川市農業体験実習 (田植え)	： 5月18日 (土)	21人
	(稲刈り)	： 9月22日 (日) 21人
❖ 子ども体験学校「ECO&自然観察体験隊」	： 8月25日 (日)	32人
❖ 雪を楽しもう「スノーキャンドル2025」	： 1月25日 (土)・26日 (日)	26人
❖ 西区子ども環境広場 (協力事業)	： 12月 7日 (土)	100人
◇ 手稲区		
❖ 子どもの居場所づくり(子ども広場)	： 11月30日 (土) (2か所) 計304人	
	12月 1日 (日)	
❖ 子ども遊びの駅	： 2月15日 (土)・16日 (日)	136人

<野外活動推進事業>

各区支部で、青少年キャンプ場(小野幌・西岡・手稲)を活用し、野外活動が未経験な子どもを対象に、野外体験事業を企画・実施し、**延べ約170人**が参加しました。

◇ 厚別区：わくわくキャンプ(小野幌：宿泊)	： 9月21日 (土) ~ 22日 (日)	130人
◇ 手稲区：子ども学校(手稲：日帰り)	： 7月27日 (土)	41人

(4) 地域の教育機関や企業等との連携事業

〈札幌市委託業務〉

新たに地域の教育機関や企業等と連携し、子どもが将来の夢や目標を身近に感じ、次世代を担う人材育成の重要性を醸成する場となる体験事業について、基本的に在宅学習（事前・事後）・集合体験を効果的に組み合わせて実施し、延べ約2,900人が参加しました。

◇ バケツ稲づくり

（協力：一般社団法人全国農業協同組合中央会 JAグループバケツ稲づくり事務局）

- ❖ 延べ20回（5エリア×4回）→自宅体験学習（観察・水やり等）
- ❖ 参加者数：延べ1,400人

◇ 豊平川びっくり塾

（協力：北海道開発局札幌河川事務所、札幌市豊平川さけ科学館）

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 〈7月20日（土）〉
- ❖ 参加者数：延べ180人

◇ まるやまZOOTIME

（協力：札幌市円山動物園）

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 〈1月10日（日）〉
- ❖ 参加者数：延べ111人

◇ さっぽろ手稲の森探検塾

（協力：三菱マテリアル（株）、北海道大学森林研究会）

- ❖ 延べ6回→第1回：自宅体験学習（動画で学ぶ）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 〈7月21日（日）〉
- ❖ 参加者数：延べ54人

◇ お天気塾

（協力：札幌管区气象台）

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 〈8月21日（水）〉
- ❖ 参加者数：延べ90人

◇ ふしぎ☆おどろきサイエンスキッズ

（協力：札幌市青少年科学館）

- ❖ 延べ4回→第1・2回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
- ❖ 参加者数：延べ108人

◇ エネルギー塾 ～風の力を利用したクリーン発電～

（協力：札幌市環境局、コスモエコパワー株式会社）

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 〈10月19日（土）〉
- ❖ 参加者数：延べ228人

◇ みんなの☆ユニバーサルデザイン

（協力：北星学園大学、北海道運輸局）

- ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
第2回：集合体験事業 〈10月20日（日）〉
- ❖ 参加者数：延べ78人

◇ シマエナガを守ろう ～気候変動とSDGs～

（協力：札幌市環境局、北海道大学大学院地球環境科学研究院、旭山森と人の会）

- ❖ 延べ4回→第1・2回：自宅体験学習（動画で学ぶ・工作）（午前・午後）
- ❖ 参加者数：延べ450人

- ◇ **北の海を守ろう**
(協力：株式会社札幌副都心開発公社(新さっぽろサンピアザ水族館)、札幌市環境局)
 - ❖ 延べ6回→第1・3回：自宅体験学習(動画で学ぶ・工作)(午前・午後)
第2回：集合体験事業<1月7日(火)>
 - ❖ 参加者数：延べ120人
- ◇ **話し方オンライン講座(面接で心をつかむ伝え方)**
(講師：株式会社サポルテ専任講師 有田 恵氏)
 - ❖ 延べ3回：オンライン体験事業(Zoom活用)<12月7日(土)・8日(日)>
 - ❖ 参加者数：23人(対象者：中学生)
- ◇ **しごとの「ゆめ時間」(大人が語る「ゆめ」の時間)**
(協力：しごとのゆめ時間事務局)
 - ❖ 延べ2回：集合体験事業<2月9日(日)、2月16日(日)>
 - ❖ 参加者数：33人(対象者：中学生)

(5) キャンプ場管理運営事業 <札幌市委託業務>

札幌市青少年キャンプ場(西岡、小野幌、手稲)3施設を管理運営しました。
利用団体数・利用人数は、**34団体、1,112人**となりました。(令和5年度と同程度)

キャンプ場	利用団体数	利用者数
小野幌	9団体	349人
西岡	11団体	423人
手稲	14団体	340人
計	34団体	1,112人

(6) 子どもの体験活動の場「Coミドリ」 <札幌市補助事業>

南区の旧真駒内緑小学校の跡地施設を活用した、暫定的な子どもの体験活動の場「Coミドリ」の運営事業は、5年間(令和2～6年度)における契約更新の最終年度となりました。
令和5年5月、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更(2類から5類へ移行)などもあり、常設の体験活動の場(遊び場・居場所)の環境整備を図り、市内プレーパーク活動団体及び地域団体との協力連携を強化しました。

また、より子どもの自立性や社会性を育む観点から、来場者(子ども・大人)の話し合いによる提案・参加型の体験活動の場づくりなど、多様な子ども・保護者のニーズに対応して体験事業のブラッシュアップを図りました。

この結果、年間利用者総数は**50,921人**となり、前年度の33,433人から17,488人増、前年度に比べて約1.5倍となり、5年間で延べ**113,213人**が利用しました。

なお、令和7～10年度の4年間は、運営事業者として採択されませんでした。

(7) むかわ地引網体験事業(区支部との共同事業) <札幌市補助金事業>

(協力：鶴川漁業協同組合)

札幌市内では得られない北海道の豊かな自然と恵み(資源)を活用した産業・文化体験事業として、貸切バスによる体験事業が未実施の区支部と共同で開催しました。

具体的には、札幌市から日帰り圏内のむかわ町前浜で親子による地引き網体験とし、雨天の場合は同じくむかわ町にある穂別博物館の恐竜・博物体験として実施しました。

- ❖ 延べ2回：7月6日(土)：恐竜・博物体験
7月13日(土)：地引き網体験
- ❖ 参加者数：延べ69人

2 育成事業

(1) ジュニアリーダー養成研修事業

〈札幌市委託業務〉

『心とワザを磨こう！～子どもたちに魅力のあるリーダーを育てよう～』を基本的な考え方に、ジュニアリーダー養成の基本・テーマ研修を実施し、延べ約1,800人が参加しました。(テーマ研修は、次のとおり、一般の小学生・中学生を含む。)

(令和7年3月31日現在)

名称区分	登録者数	対象学年	ジュニアリーダー研修回数	開催日程	参加者数	
基本研修	養成	590人	小学4・5年生	全3回 (日帰2回) (宿泊1回)	第1回： 6月(4日間)	463人
	初級	333人	小学6年生・ 中学1年生		第2回： 7月(2日間) 8月(2日間)	365人
	中級	153人	中学2・3年生		第3回：10月(2日間) (宿泊) 11月(2日間)	271人
	中・上級		(合同研修)	全1回 (宿泊1回)	第1回： 6月(宿泊)	23人
	上級	134人	高校1年生以上	全回3回 (日帰2回) (宿泊1回)	第1回： 5月 第2回： 9月 第3回： 11月(宿泊)	85人
	計	1,210人				1,207人
テーマ研修	10区		ジュニアリーダー 研修登録者 小学3～6年生	20回(10区) (日帰研修) 〈防災チャレンジ〉	10月12日(土) 10月13日(日) 10月14日(月・祝) 10月19日(土) 10月20日(日)	410人
	全市			2回(日帰研修) 〈避難所〉	9月14日(土) 9月15日(日)	124人
	全市		ジュニアリーダー 研修登録者 中学1～3年生	2回(日帰研修) 〈救急〉	9月16日(月・祝)	11人
	計					545人

(2) ジュニアリーダー派遣研修事業

〈全子連・指定都市子連 共催事業〉

◇ 第53回指定都市子ども会ジュニアリーダー研修会北九州大会

- ❖ 日時：令和6年8月2日(金)～4日(日)
- ❖ 場所：北九州市立 玄海青年の家
- ❖ 参加人数：3名(上級研修生2名、修了生1名)

◇ 全国ジュニアリーダー研修会

- ❖ 日時：令和6年9月21日(土)～23日(月)
- ❖ 場所：東京都 オリンピックセンター
- ❖ 参加人数：3名(上級研修生2名、修了生1名)

(3) 育成者研修支援事業

〈札子連独自事業〉

子ども会活動の課題を他都市子連の関係者と意見交換し、札子連事業等への還元を目的とする研修会に参加した。また、区支部においても育成者研修会を実施しました。

◇ 第57回全国子ども会育成中央会議・研究大会

- ❖ 日時：令和6年11月16日(土)～18日(月)
- ❖ 場所：沖縄県那覇市
- ❖ 参加者：会長等欠席 区支部役員(4名)：任意参加

◇ 第 60 回指定都市子ども会育成研究協議会

- ❖ 日 時：令和6年11月9日（土）～10日（日）
- ❖ 場 所：横浜市（横浜ベイシェラトンホテル）
- ❖ 参加者：会長、常務理事
地区推進委員：事務局（総務主幹）、ユースリーダー（厚別区）

(4) 子ども会活動表彰事業

<札子連独自事業>

◇ 札子連表彰

当連合会の定時総会で、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰しました。

- ❖ 単位子ども会：該当なし（7年以上にわたって活動）
- ❖ 子ども会育成者：9名（10年以上にわたって活動）
- ◇ 全国子ども会連合会表彰（20年以上活動にわたって活動）
 - ❖ 単位子ども会：1団体
 - ❖ 子ども会育成者：1名
- ◇ 指定都市子ども会連絡協議会表彰（20年以上活動にわたって活動）
 - ❖ 単位子ども会：該当なし
 - ❖ 子ども会育成者：2名

(5) 職員研修事業

<札子連独自事業>

全子連の安全共済会加入手続き、個人情報保護、市委託業務の運営方法・報告手続きについて、定例の職員ミーティング及び職員研修会を開催しました。

3 助成事業

(1) 区支部修了生の会助成事業

<札子連独自事業>

- ◇ 北区・西区・手稲区の修了生の会に助成しました。（各年度10,000円）

(2) 子ども会体験活動助成事業

<札子連独自事業>

- ◇ 10区46団体に体験事業を助成しました。（1団体 上限20,000円）
- ◇ 子ども会を立ち上げ団体に助成しました（北区1団体・清田区1団体）。（最長3年目まで、各年度50,000円）

4 普及啓発事業

<共同募金会助成事業・札子連独自事業>

子どもやその保護者、地域の関係団体や住民の皆様に、活動の楽しさや子どもの成長など、子ども会の意義やその成果を知っていただくために、広報誌の配布等によるPR事業について、単位子ども会のほか、市内の小学校・児童会館・区民センターなどを通じて実施しました。

また区支部では、赤い羽根共同募金の街頭啓発に協力しました。

- ☆ さっぽろっ子（札子連の広報誌） 年1回発行（3月） 13,000部
- ☆ 各支部の広報紙・機関紙 年1～2回発行
- ☆ パネル展 区支部ごと、各種行事に合わせて開催
- ☆ 札子連Webサイト Web申込みなどでアクセス数の増加
(令和2年6月にリニューアル実施)

区 分	閲覧数（セッション数） ※ 訪問者が開いたページ数	閲覧数の増減	訪問者数	訪問者数の増減
令和6年度	86,835 件	12,348 件増	64,565 人	15,108 人増
令和5年度	74,487 件	824 件減	49,457 人	5,281 人増
令和4年度	75,311 件	13,257 件増	44,176 人	9,578 人増
令和3年度	62,054 件	—	34,598 人	—

5 安全共済会事業

<全子連委託業務・札子連独自事業>

◇ 全子連の安全共済会への加入者数

- ❖ 令和6年度:20,354人<前年度 2,577人減(約11%減)>
- ※ 令和5年度:22,931人<前年度 3,182人増(約16%増)>
- ※ 令和4年度:19,749人<前年度 552人減(約3%減)>
- ※ 令和3年度:20,301人<前年度 4,127人増(約25%増)>
- ※ 令和2年度:16,174人

◇ 単位子ども会数

- ❖ 令和6年度:322 団体 <対前年度 15 団体減>
- ※ 令和5年度:337 団体 <対前年度 28 団体増>
- ※ 令和4年度:309 団体 <対前年度 22 団体増>
- ※ 令和3年度:287 団体 <対前年度 28 団体減>
- ※ 令和2年度:315 団体

◇ その他

また、会員の怪我発生時に支払われる医療共済金は、2件ありました。(本部・北区)
このほか、10年無事故の**単位子ども会8団体**に、賞状・記念品を贈呈して褒賞しました。

6 重要な契約の報告

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市ジュニアリーダー養成研修企画・実施業務	札幌市	93,830千円
札幌市「子どもの体験活動の場」運営事業費補助金	札幌市	25,769千円

7 管理運営の報告(令和6年度末)

- ☆ 理事:15名(理事10名:正会員から選出)(外部理事4名、常務理事1名)
(会長1名、副会長2名)
- ☆ 監事:2名(外部監事1名)
- ☆ 顧問:1名(令和6年6月23日(日)に選任)
- ☆ 理事会:令和6年6月4日(火)第1回理事会
令和6年6月23日(日)臨時理事会
令和7年3月18日(火)第2回理事会
- ☆ 総会:令和6年6月23日(日)
- ☆ 事務局:本部事務局、区支部事務局(10区)、C o m i ドリ事務局
 - ◇ 本部事務局 7人
<常勤的職員(週3日~週5日勤務)>
事務局長 事務局次長(欠員)
総務主幹 地域連携事業主幹(欠員)
研修事業係長 体験事業係長(欠員)
調整主査
チーフ(体験事業)
防災事業専門員
一般職員
 - ◇ 本部・区支部事務局 15人(本部7人、区支部8人)
<常勤的嘱託職員(週3日~週5日勤務)>
<6名:新規採用 5名:自己都合退職>
 - ◇ C o m i ドリ事務局の職員 9人
施設長、主査、チーフ、プレーワーカー(6人)
※ 令和6年度末で運営事業の終了により任期満了退職